

岩手県立大学 2017(H29)年度 新入学者アンケート

集計結果報告書（学外公開用抜粋）
2017（H29）年6月

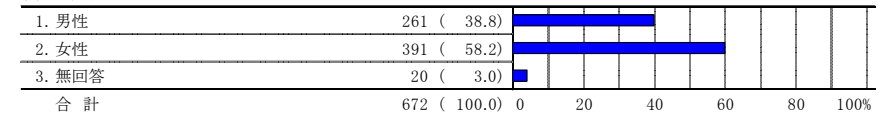
目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

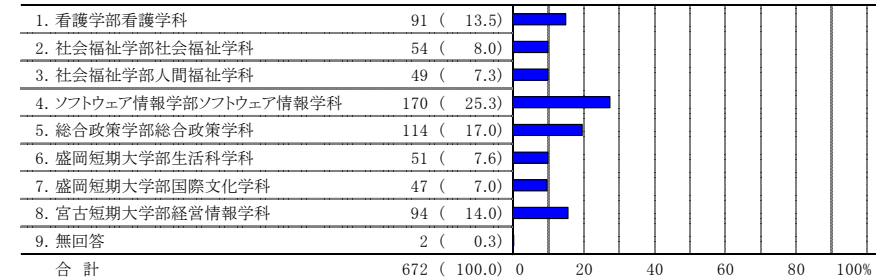
1. 調査の概要

- ① 実施時期・方法：2017年4月新入生オリエンテーションにて配布・回収
- ② 対象：岩手県立大学新入学者 703名
- ③ 回答・回収状況：672票（回収率：96.3%）
- ④ 回答者内訳

問18. 性別



問19. 学部学科



2. 調査結果の要約

問 1 第一希望の大学

全体では「第一志望だった」71.1%、「第二志望だった」19.9%、「第三志望以下だった」8.8%となっている。

本学が「第二志望だった」、「第三志望以下だった」と回答した新入学者が記載した「他に受験した大学」は、記載件数の多い順に「岩手県立大学」(38件)、「岩手大学」(38件)、「福島大学」(17件)、「弘前大学」(16件)、「山形大学」(11件)、「盛岡大学」(11件)、「秋田大学」(8件)となっている。

問 2 本学の入試に関する情報の入手方法

本学の入試に関する情報の入手方法上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」53.1%、「本学のホームページを見た(TwitterまたはFacebookを含む)」40.9%、「高校の先生からアドバイスをもらった」31.1%となっている。

問 3 本学受験や入学前の問い合わせ状況

全体としては、14.3%の学生が何らかの問い合わせをしている。「問い合わせ時の担当者の対応」については 94.8%が満足しており、「どちらかといえば不満」「不満」と回答したのは 3.1%(96 人中の 3 人)であった。

問 4 本学の大学説明会やオープンキャンパスへの参加状況と参加時の満足度

受験にあたり、本学の大学説明会やオープンキャンパスに参加した学生は約 5 割。参加割合が最も高いのは社会福祉学部人間福祉学科 73.5%、最も低いのは盛岡短期大学部生活科学科 39.2%となっている。満足度については、参加した学生の 96.8%が「大学について大変満足できた」47.8%、「概ね満足できた」49.0%と回答している。

問 5 本学のホームページの閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学のホームページを閲覧した割合は 88.1%。閲覧したと回答した学生の 88.7%が、大学について「大変良く理解できた」24.3%、「概ね理解できた」64.4%と回答している。

問 6 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学の入学案内(冊子)を見た学生は 89.9%。そのうち 95.5%が、大学について「大変よく理解できた」42.4%、「概ね理解できた」53.1%と回答している。

問 7 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「センター試験の後」31.0%が最も高くなっている一方、次いで「高校 2 年以前」21.0%が高くなっている。学部・学科ごとに差異もある。

問 8 本学への受験・入学形態

新入学者の受験・入学形態の状況全体としては、一般入試が(前期)47.5%、(後期)10.0%で合わせて 57.4%、次いで推薦 33.3%、AO入試 4.3%となっている。

問 9 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は受験決定の参考になりましたか

「ホームページや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか」という設問に対して、「参考になった」「どちらかといえば参考になった」と回答した割合は、全体としては 83.2%となっている。

問 10 大学進学を考えた理由

新入学者が大学進学を考えた理由の上位は、「専門的知識や技術を修得するため」48.7%が最も高く、次いで「就職に有利だから」31.3%、「資格を取得するため」29.0%となっている。学部・学科ごとに特色も出ている。

問 11 進学や受験のときに本学を選んだ理由

進学や受験のときに、本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、「公立(県立)大学である」69.0%に次いで「資格の取得」38.8%、「校舎、キャンパス等のイメージ」31.4%、「教育設備(図書館、情報機器など)」28.7%、「卒業生の就職先や就職率(就職に有利)」28.3%となっている。

問 12 一般的な受験大学選択の理由

「学校案内書や HP の内容」「建学の精神や教育理念(理念と目標)」「高校や塾の先生の薦め」「両親の意見や薦め」などの項目において、「本学を選んだ理由」が一般的な理由と比較して順位が高くなっている。また「両親の意見や薦め」「推薦入試制度」についても、影響度の順位が高くなっている。

問 13 筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性

筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性について、全体として「適切でないと思った」のは、筆記試験を受けた学生 560 人のうち 28 人(5.0%)であった。

問 14 面接や面談での質問内容や実施方法の適切性

面接や面談を受けた学生 409 人(無回答を除く)のうち、「適切でないと思った」のは 3 人。「どちらともいえない」は 25 人。面接や面談を受けた学生 409 人のうち 381 人(93.2%)が「適切だと思った」と回答している。

問 15 試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性

試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性についての「適切でないと思った」のは全学で 4 人。「どちらともいえない」は 19 人となっている。

以上